

授業科目 視覚生理学実習

【担当教員名】 前田 史篤 他		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 視覚生理学で得られた概念や知識を掘り下げ、ヒトの生体現象の営みを実験実習という形で観察し、そこから視覚的に得られた情報により、講義内容をより深く理解する事を目的とする。視覚の成り立ちを視力、屈折、電気生理、色覚、光覚等の検査を通して理解し、視機能評価の方法と理論を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 実験－観察－記録－分析ができる 2. 得られたデータから考案ができる 3. 文献を参照しながら、レポートにまとめることができる					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	ガイダンス・レポートのまとめ方	1	講義	前田史篤 ほか	
2	豚眼の解剖と観察 1	1	実習	前田史篤 ほか	
3	豚眼の解剖と観察 2	1	実習	前田史篤 ほか	
4	ランドルト環の自作と最大視力の測定 1	1	実習	前田史篤 ほか	
5	ランドルト環の自作と最大視力の測定 2	1	実習	前田史篤 ほか	
6	恒常法による視力の測定 1	1	実習	前田史篤 ほか	
7	恒常法による視力の測定 2	1	実習	前田史篤 ほか	
8	偏心視力の測定	1	実習	前田史篤 ほか	
9	動体視力の測定	1	実習	前田史篤 ほか	
10	グレア視力の測定	1	実習	前田史篤 ほか	
11	コントラスト感度の測定	1	実習	前田史篤 ほか	
12	さしこし現象の記録	1	実習	前田史篤 ほか	
13	角膜知覚検査	1	実習	前田史篤 ほか	
14	眼軸長と屈折の相関	1	実習	前田史篤 ほか	
15	瞳孔機能検査	1	実習	前田史篤 ほか	
16	眼球模型の作成	1	実習	前田史篤 ほか	
17	脳模型の作成	1	実習	前田史篤 ほか	
18	暗順応検査 1	1	実習	前田史篤 ほか	
19	暗順応検査 2	1	実習	前田史篤 ほか	
20	ERGの記録 1	1	実習	前田史篤 ほか	
21	ERGの記録 2	1	実習	前田史篤 ほか	
22	VEPの記録 1	1	実習	前田史篤 ほか	
23	VEPの記録 2	1	実習	前田史篤 ほか	
24	網膜EOGの記録 1	1	実習	前田史篤 ほか	
25	網膜EOGの記録 2	1	実習	前田史篤 ほか	
26	眼球運動EOGとOKNの記録 1	1	実習	前田史篤 ほか	
27	眼球運動EOGとOKNの記録 2	1	実習	前田史篤 ほか	
28	グループ発表, データレビュー 1	2～3	実習	前田史篤 ほか	
29	グループ発表, データレビュー 2	2～3	実習	前田史篤 ほか	
30	グループ発表, データレビュー 3	2～3	実習	前田史篤 ほか	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学 第二版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011・18,000円＋税
参考書		眼科プラクティス6	大鹿哲郎 (編)	文光堂	2005・18,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】 提出物とグループ発表の内容、実習に対する意欲や実習参加状況などから総合的に評価する。		【履修上の留意点】 締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。実習科目につき、全出席が原則である。連絡のない遅刻や早退は認められない。			